

自然環境リテラシー学

自然環境リテラシーとは？

「自然環境リテラシー」とは、自然環境を総合的に理解し、自然環境と人間が相互に与え合う影響について深く考察し、体得した知識・技能を正しくわかりやすく伝達・発信することによって、自然環境を守り保全しながら、その魅力を活用できる能力を意味します。

三重大学生物資源学部では、平成30年度より「自然環境リテラシー学※」を開設し、三重県の自然豊かな地域で、4泊5日の現地合宿型実習を行っています。多様性あふれる三重の自然をとことん体験することで、自然環境に関する広範な知識と技能を身につけ、自然と関わる上で重要である危険回避能力や安全管理能力についても学習し、単なるアウトドアレジャーではない、生きる力の醸成を目指しています。

※この科目は、三重大学生物資源学部の正規の専門科目であり、COC+科目として三重大学の全学部から履修可能です。また、「高等教育コンソーシアムみえ」の単位互換科目として、三重県内のすべての高等教育機関からも履修可能です。

生き抜く力を育む～三重の自然環境リーダーに！



自然の中の自分を感じる！

5日間の実習によって心身が鍛えられ、顔つきがみるみる変化する学生たち。自然に対する感謝や畏敬が芽生え、人間も自然の一部であることを自覚し、大きく成長します。

やがて彼らが、持続可能な自然の活用法を自ら実践・発信していきける“三重の自然環境リーダー”になれるよう、育成していくことも、この実習の大きな目的の一つです。



ライフジャケットは浮く！

自然をとことん体験・実感する合宿型実習



レスキューを覚える

1st step 安全講習

- ・海上保安部の講話
- ・装備・カヤックについて
- ・ライフジャケット装着法
- ・グループレスキュー
- etc...

Lectures テーマ別講義

- ・「持続可能な未来」
- ・「アドベンチャーと自然環境リテラシー」
- ・「海気と天気」
- etc...

2nd step パドリング

- ・陸上実習・海上実習
- ・前進・後進・ブレーキ
- ・スweep・スピン・ターン
- etc...



自分の力で漕ぐことを覚える！

Activities

- ・サイクリング
- ・ハイキング
- ・シュノーケリング
- ・カヤック+α
- ・SUP

3rd step ツーリング

- ・グループ/セルフレスキュー
- ・地図コンパスの基本
- ・プランニング
- ・キャンプ・野外調理
- etc...

いざ、海へ！



食事は野外で自分たちで



天気・海気を感じる・知る・読む力！



地域の人とともに自然との共生を学ぶ

自然のコワさを知って 危機管理・安全管理できる力をつける

実習ではまず始めに、海上保安庁による安全講話とライフジャケットの装着法などの安全講習を行い、自然における危険要素をしっかり学びます。

海上実習は、「プロガイド：学生＝1：5」以下のガイドレシオで実施。スタッフは、「三重大学自然環境リテラシー学実施規定（プロガイド監修）」に従い安全管理を行います。

この規定は、責任の所在を明確にし、安全に実施するための様々な事項を定めたものです。ログブックの蓄積や携行備品、自然災害発生時の対応や、連絡システムのフローチャート、記録保持などが含まれます。また、実習の実施基準においては、気象状況だけでなく、学生の健康状態やフィールドの状況、社会情勢をも判断材料として明確に定められています。さらに万が一の事故に備え、対応マニュアルや緊急連絡先、加入保険についての詳細などが記されています。



自然の素晴らしさ・環境保全の大切さを、次世代・地域へ伝えていく

自然環境リテラシー学は、実習を通して成長した学生たちが大学の外へ出向き、地域の方々に自然環境の素晴らしさと環境保全の大切さを伝え、持続的な地域づくりを担う人材の育成や、地域の取り組みと連動していくことを目指しています。



尾鷲市立宮之上小学校の児童とともに
山林アクティビティ



自然体験プログラム開発 (明和町)



一般の方を対象としたカヤック乗船体験会



体験的自転車企画「ヤマジテ」(多気町)



尾鷲市職員を対象とした
体験実習や危機管理に関する講習会



自然体験プログラム開発「満月屋台」(明和町)



SEA TO SUMMIT 2019 (紀北町)への
一般企画・スタッフ参加



実習で学んだ知識や技能を一般の方に伝える企画展
をMieMu(三重県総合博物館)や熊野市で開催

自主サークル 「NELC(ネルク)」を結成

こうした活動を年間通して行うため、実習に参加した学生たちは「自然環境リテラシークラブ(NELC)」を自主的に結成し、大人から子どもまで多くの方々に自然環境リテラシーを伝える活動を継続的に行っています。

自然環境リテラシー学と連携する学校や地域での取り組みを募集しています

地域の体験プログラムの開発や、子どもたちのための「自然や地域の魅力発見」「生きる力の育成プログラム」などに関する企画やアイデア、具体的な取り組みなどがありましたら、ぜひご相談ください。

自然環境リテラシー学実習の実施を支えてくださるご寄付・ご協賛を受け付けております!

自然環境リテラシー学の趣旨と実習内容にご賛同いただける個人・企業・団体の皆様からの、寄付や協賛を承っております。詳細につきましては下記までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

●自然環境リテラシー学全般に関すること
059-231-9939 / tats@bio.mie-u.ac.jp
教授 坂本 竜彦 (三重大学・生物資源学部)

●寄付・協賛に関すること
y-kosuke@bio.mie-u.ac.jp
研究員 山本 康介 (三重大学・地域拠点サテライト)

体感!

実感!

三重の自然



自然を知ることは「生きる力」を育むこと

自然環境リテラシー学

